

## 第 15 回

# ハイリスク児フォローアップ研究会 プログラム

会 頭 藤村 正哲

大阪府立母子保健総合医療センター 院長

日 時

2005年5月29日(日) 10:00~17:00 大阪国際会議場

## 第15回ハイリスク児フォローアップ研究会「フォローアップにおけるハイリスク児への支援」

会 頭 藤村 正哲 大阪府立母子保健総合医療センター 院長

日 時 2005年5月29日(日) 10時～17時

会 場 大阪国際会議場 10階 1001-3  
大阪市北区中之島 5-3-51 tel 06-4803-5555

参加費 3,000円

### プログラム

10:00 開会

10:00～10:10 会頭挨拶 (大阪府立母子保健総合医療センター) 藤村 正哲

10:10～12:10 一般演題

<発 達>

10:10～11:00 座長 (名古屋第二赤十字病院 小児科) 永田 雅子

- 1歳児のアタッチメント行動を予測する新生児・乳児期の心理・生理学的指標  
鶴見大学短期大学部<sup>1)</sup>、実践女子大学生生活科学部<sup>2)</sup>、東邦大学医学部<sup>3)</sup>  
齋藤 晃<sup>1)</sup>、多田 裕<sup>2)</sup>、宇賀 直樹<sup>3)</sup>
2. カンガルーケアが極低出生体重児の母子関係と子どもの発達に及ぼす長期的効果 (続報)  
梅花女子大学<sup>1)</sup>、大阪府立母子保健総合医療センター<sup>2)</sup>  
金澤 忠博<sup>1)</sup>、北島 博之<sup>2)</sup>、小瀬良 幸恵<sup>2)</sup>、中農 浩子<sup>2)</sup>、  
山本 悦代<sup>2)</sup>、藤村 正哲<sup>2)</sup>
3. 発達外来における育児支援 - 検査場面から母子関係を支える -  
都立墨東病院周産期センター 臨床心理士  
宇野 知子
4. 6歳時(就学前)健診におけるWISC-IIIの活用  
奈良県立奈良病院 新生児集中治療室<sup>1)</sup>、小児科<sup>2)</sup>  
村井 雅美<sup>1)</sup>、乾 由加利<sup>1)</sup>、前田 恵美子<sup>1)</sup>、釜本 智之<sup>1)</sup>、坂東 由香<sup>1)</sup>、  
内田 優美子<sup>1)</sup>、西久保 敏也<sup>1)</sup>、西野 正人<sup>2)</sup>
5. 極低出生体重児の5歳から6歳、9歳の精神発達の縦断的变化 - 知能検査結果から -  
中部大学<sup>1)</sup>、愛知県コロニー中央病院<sup>2)</sup>、名古屋市立大学病院<sup>3)</sup>  
松尾 久枝<sup>1)</sup>、二村 真秀<sup>2)</sup>、石川 道子<sup>3)</sup>

<フォローアップ・支援>

11:00～11:40

座長 (国立病院機構九州医療センター 小児科) 佐藤 和夫

6. 超低出生体重児における精神運動発達評価法の実態

ー検査時期、テストバッテリー、発達指数の扱いの統一化をめざしてー

大阪府立母子保健総合医療センター 臨床試験支援室<sup>1)</sup>、発達小児科<sup>2)</sup>、  
新生児科<sup>3)</sup>

北村 真知子<sup>1)</sup>、山本 悦代<sup>2)</sup>、小林 美智子<sup>2)</sup>、北島 博之<sup>3)</sup>

7. 長野県立こども病院新生児病棟によるフォローアップ外来への試み

長野県立こども病院 新生児病棟

西原 淑恵、宮下 郁江、井桁 しげ子、斎藤 依子、野村 雅子、  
中村 友彦

8. 多職種による超低出生体重児の包括的発達支援外来 ～すくすく外来～

埼玉県立小児医療センター 未熟児新生児病棟 看護師 渡部 恭子、海上 加代子  
未熟児新生児科 清水 正樹

9. 二つの周産期センターの共同運営による早期介入プログラムの経験

総合母子保健センター愛育病院 母子保健科<sup>1)</sup>、日本子ども家庭総合研究所<sup>2)</sup>

東京女子医科大学 母子総合医療センター<sup>3)</sup>

佐藤 紀子<sup>1)</sup>、石井 のぞみ<sup>1)</sup>、山口 規容子<sup>1)</sup>、安藤 朗子<sup>2)</sup>、  
河野 由美<sup>3)</sup>、三科 潤<sup>3)</sup>

<その他>

11:40～12:10

座長 (東京女子医科大学 母子総合医療センター) 河野 由美

10. 新生児期に General Movement(GM)の評価を行い得た一絨毛膜性双胎の2症例

淀川キリスト教病院 リハビリテーション科<sup>1)</sup>、小児科<sup>2)</sup>

川上 和子<sup>1)</sup>、金澤 智弘<sup>1)</sup>、大西 聡<sup>2)</sup>、和田 浩<sup>2)</sup>、鍋谷 まこと<sup>2)</sup>、  
玉井 普<sup>2)</sup>、船戸 正久<sup>2)</sup>

11. 内分泌障害を伴ったネグレクトの1乳児例

愛仁会高槻病院 小児科

三宅 理、橋本 直樹、南 宏尚、李 容桂、西野 昌光

12. 産院におけるダウン症親子教室の開催 ー心理的支援としての検討ー

葛飾赤十字産院

山田 美穂、久保 洋子、三石 知左子、島 義雄、岩松 雅子、  
土木 美緒、渡辺 淳子、高橋 亜由美、須之内 詩子、横溝 涼子

12:10

午前の部終了

12:15～13:00

幹事会

13:00～13:15

総 会

13:15～14:15	特別講演 「小さく生れた赤ちゃんと家族が求める支援」 －長野県立こども病院の取材から－	座長 (大阪府立母子保健総合医療センター) 信濃毎日新聞文化部	藤村 正哲 井上 裕子
14:15～17:00	シンポジウム 「どうするか？ハイリスク児と家族が求める発達支援： そのニードと支援体制」	座長 (兵庫県立こども病院) (いぬかい小児科)	上谷 良行 犬飼 和久
	1. 極低出生体重児フォローアップ事業・信州モデル 長野県立こども病院総合周産期母子医療センター 新生児科 長野県社会部青少年家庭課 主査保健師		中村 友彦 松本 清美
	2. 宮城県における育児支援ネットワーク 宮城県立こども病院 リハビリテーション科		奈良 隆寛
	3. 大阪で広がる輪 淀川キリスト教病院 小児科		鍋谷まこと
	4. 神戸市のハイリスク児発達支援 神戸大学医学部 保健学科		高田 哲
	5. 小児科開業医におけるハイリスク児フォローアップの試み おぐちこどもクリニック		小口 弘毅
	6. 臨床心理士の立場から行う発達支援 名古屋第二赤十字病院 小児科 臨床心理士		永田 雅子
	7. 周産期ハイリスクネットワーク研究班の研究活動 東京女子医科大学母子総合医療センター		三科 潤
17:00	閉会挨拶		